

# 平成30年度 第2回農業大学校外部評価委員会

日 時：平成31年2月18日(月)13:30～  
場 所：大分県立農業大学校 会議室

1 開会のことば

2 校長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議事

(1)平成30年度重点目標の取組状況からの自己評価について

運営方針1 活気あふれる学園づくり (基礎学力を備えた入学生60名の確保)

運営方針2 質の高い教育の提供 (試験研究機関及び地域との連携課題80%以上、日本農業技術検定3級以上取得者80%以上)

運営方針3 新規就農者の確保 (全学生・研修生の進路決定100%、就農率80%以上)

(2)平成31年度に向けた取組概要

別紙

(3)その他

5 閉会のことば

諸連絡

1 平成30年度 重点目標の取組状況及び評価について

重点目標	取組状況	達成状況	評価																																		
<p>運営方針1 活気あふれる学園づくり</p> <p>【数値目標】 基礎学力を備えた入学生60名の確保</p>	<p>《平成31年度入学試験実施状況と合格者数》</p> <p>(1) 推薦入試と一般入試 ( ) 内は女子</p> <table border="1" data-bbox="488 276 1301 419"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦入試</td> <td>10/30</td> <td>33名(8名)</td> <td>33名(8名)</td> </tr> <tr> <td>一般入試</td> <td>1/24</td> <td>5名(0名)</td> <td>4名(0名)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>38名(8名)</td> <td>37名(8名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※県内農業系学科からの受験者24名(前年比-7名, 63.1%)          県立普通科3名(前年比-2)、県立他学科0名(前年比-3)          私立・定通8名(前年比-4)、県外高校2名(前年比-1)、          4年制大学0名(前年比-2)、社会人0名(前年比-1)</p> <p>(2) 過去5年間の受験者数と入学者数</p> <p style="text-align: center;">※H30 受験者数は推・一、入学者数は合格者数</p> <table border="1" data-bbox="488 612 1301 703"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受験者数</td> <td>54名</td> <td>50名</td> <td>58名</td> <td>58名</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>入学者数</td> <td>53名</td> <td>44名</td> <td>53名</td> <td>58名</td> <td>37名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 二次募集を実施          試験日 平成31年3月18日</p> <p>1 高校の進路選択および高校生への積極的な働きかけ</p> <p>○高校訪問          対象校：公立44校・私立14校・通信制3校 計61校          実施回数：5回(学校により2～5回)          県内高校3年生に農大紹介リーフレット配布、学校・受験案内、          進路ガイダンス要請、オープンキャンパス案内 等</p> <p>○進路指導担当を対象とした農大説明会          平成30年5月25日実施          公立15校16名、私立3校3名 計19名参加</p> <p>○進路ガイダンス及び学校説明          公立9校18回、私立2校2回、4地区4回 計24回実施</p> <p>○オープンキャンパス「緑の学園への参加者拡大          生徒：第1回目(6/23)41名(昨年46名)          第2回目(8/5)63名(昨年86名)          計104名(昨年132名)          ※内3年生参加者数 46名(昨年67名)          保護者・教員：第1回36名、第2回36名          計72名(昨年48名)          総計176名(昨年180名)</p>		実施日	受験者数	合格者数	推薦入試	10/30	33名(8名)	33名(8名)	一般入試	1/24	5名(0名)	4名(0名)	計		38名(8名)	37名(8名)	年度	H27	H28	H29	H30	H31	受験者数	54名	50名	58名	58名	38名	入学者数	53名	44名	53名	58名	37名	<p>《推薦、一般入試》          受験者38名、合格者37名。昨年と比べ受験者20名、合格者20名減。          [推薦入試・一般入試]          ・高校求人が大変好調な中、農業科7名減を筆頭に大幅減。          ・「基礎学力」基礎学力については、一般入試において1名の不合格者があった。          [推薦入試]          ・前年度より農業科の減少は予測されていたが、他学科の減少が想定外であった。          [一般入試]          ・併願者も含め普通科への募集も強化したが、結果につながらなかった。          ※本年度は二次募集要項を県下全高校へ郵送。</p> <p>《高校の進路選択への積極的な働きかけ》          ○昨年と同様の高校訪問を実施した。重点校への比重強化を図った。          ○進路担当対象説明会は、各校校長を経由しての案内を試みたが、参加者は昨年と比べ3校3名減少した。          ○進路ガイダンス・説明会については、昨年並みであった。就職求人が好調なためか減少ぎみにある。農業系高校に対し、2月以降副校長による単独の説明会を実施。          ○オープンキャンパス参加者は昨年並であったが、高校生が減少し保護者が増加した。特に高校3年生の減少が大きかった。</p>	<p>【自己評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標を完全に達成</li> <li>2 目標をほぼ達成(80%以上)</li> <li>3 目標を未達成(50～80%)</li> <li>4 目標を著しく未達成(50%以下)</li> </ol> <p>【委員評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標を完全に達成</li> <li>2 目標をほぼ達成(80%以上)</li> <li>3 目標を未達成(50～80%)</li> <li>4 目標を著しく未達成(50%以下)</li> </ol>
	実施日	受験者数	合格者数																																		
推薦入試	10/30	33名(8名)	33名(8名)																																		
一般入試	1/24	5名(0名)	4名(0名)																																		
計		38名(8名)	37名(8名)																																		
年度	H27	H28	H29	H30	H31																																
受験者数	54名	50名	58名	58名	38名																																
入学者数	53名	44名	53名	58名	37名																																

	<p>2 情報発信の取組</p> <p>(1) 「先輩から後輩へのメッセージ」7月に24校に配布 「農大で活躍する先輩たち」11月に1校に2回配布</p> <p>(2) フェイスブックやパブリシティなどによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FB 本年度記事数114件 フォロワー603人(1月25日現在)</li> <li>・ケーブルTVを除くTV取材2件</li> <li>・新聞掲載8件</li> </ul> <p>(3) 市町村、JA、JR等への募集ポスター掲示等依頼 県内18市町村役場、JA83本・支所、JR44駅 計572枚配布</p> <p>3 高大連携の促進</p> <p>(1) 高校への出前農大の実施</p> <p>①三重総合高校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農大での実習 1年6日、2年4日、3年6日</li> <li>・三重総での授業 2年5日</li> <li>・農大プロジェクト発表会 2年37名、3年14名参加</li> </ul> <p>②三重総合久住校との連携</p> <p>※本年度より遠隔授業として実施→久住校に配信 来年度は大分東も対象に検討中</p> <p>(2) 農業系高校1年生体験研修の実施 農業系高校1年生農大体験研修9校10学科</p> <p>(3) 「くじゅうアグリ創生塾」関連の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレ研修として小農具研修実施 (12/18)</li> <li>・県教委、農政部と協議会を組織し検討中</li> </ul> <p>(4) 高校PTA研修における農大見学の依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回高校訪問時に依頼</li> <li>・農林水産部事業として久住校、大分東の保護者が来校 久住校(7/19)8名 大分東高校(9/18)14名</li> </ul>	<p>○メッセージ等は予定通り作成し配布。</p> <p>○フェイスブックフォロワー数は、1年間で55名増加。当面目標は1000名。 本年度はTV取材を依頼。</p> <p>○ポスター掲示は過去最高数を掲示依頼。</p> <p>《高大連携》</p> <p>本年度は、遠隔授業により久住校とも連携。今後拡大を検討中。今年度は、農林水産部事業として3校対象に保護者研修が実施された。また、「アグリ創生塾」との連携も開始された。</p> <p>○農業系高校1年生体験研修は、昨年変更した内容により実施。</p> <p>○「アグリ創生塾」との連携は本年度はプレ研修として1回のみ。さらなる連携を検討中。</p> <p>○高校PTAによる農大視察は、3校対象であったが三重総合は現時点で実施されていない。</p>	
--	--	---	--

重点目標	取組状況	達成状況	評価								
<p>運営方針2 質の高い教育の提供</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験研究機関及び地域との連携課題比率80%以上</li> <li>・日本農業技術検定3級以上取得率80%以上</li> </ul>	<p>1 プロジェクト研究の高度化と地域課題への対応</p> <p>(1) 農林水産研究指導センター・振興局との連携プロジェクトの充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業研究指導センターや振興局と連携した課題への取組を強化した。また、計画検討会、中間検討会等で研究員や広域普及指導員を含めて検討を行った。</li> </ul> <p>(2) 平成30年度九州農業大学校等プロジェクト・意見発表会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト発表の部 「飼料用米SGSを利用した乳用経産牛の再肥育技術の検討」 総合畜産科 2年男子</li> <li>「『大分果研4号』の少加温栽培方法の確立」 総合農産科果樹コース2年男子</li> <li>・意見発表の部 「地域への貢献」 総合畜産科1年男子</li> </ul> <p>(3) 研究成果の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「飼料用米SGSを利用した乳用経産牛の再肥育技術の検討」を乳用牛生産者へ報告</li> </ul> <p>(4) ヤンマー学生懸賞論文・作文に13名が応募。</p> <p>(5) フラワーデザインコンテスト (総合農産科)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各フラワーデザインコンテストに出品し、優秀な成績を収めた。また、第56回技能五輪全国大会出場にフラワー装飾の部に2年男子が出場。(3年連続)</li> </ul> <p>(6) 編入学に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より進路指導マニュアル(編入学)により、希望学生に対する補講、面接、口頭試問指導を開始した。</li> </ul> <p>2 農業法人等の期待に応えられる学生の育成</p> <p>(1) 日本農業技術検定の合格者の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合格に向けて補講を実施した。</li> <li>・H30年度取得者数合計 3級24名 2級4名</li> <li>・技術検定取得者合計 3級64名 2級7名 計71名(重複取得者有)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="600 1107 1169 1225"> <thead> <tr> <th></th> <th>3級以上取得率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30卒業生</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>H31卒生(現2年)</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>H32卒生(現1年)</td> <td>67.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 総合経営特別講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座：企業経営論、アグリビジネス論、消費者ニーズとマーケティング、農業簿記、農業経営分析、農村社会学、研修(先進農家)</li> <li>・農村社会学では大分大学経済学部山浦准教授の講義の中で、大分大学の学生との交流を図った。</li> </ul>		3級以上取得率	H30卒業生	80.0%	H31卒生(現2年)	62.7%	H32卒生(現1年)	67.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生：連携課題47課題</li> <li>・2年生：連携課題33課題</li> </ul> <p>連携課題75%(80/107)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果として、農研センターや振興局等に研究成果の提供を行った。</li> <li>・入賞なし</li> <li>・技能五輪(3年連続出場)敢闘賞</li> <li>・第10回めじろんカップ 1位(大分県知事賞)：2年男子 2位(大分市長賞)：2年男子 5位(大分県花き産業振興協議会 会長賞)：2年女子</li> <li>・2年生1名が、鹿児島大学、佐賀大学編入学試験に合格。(鹿児島大学編入学予定)</li> <li>・3級以上取得者 65/109名(59.6%) 2年の未受検者が29%あり、農業技術検定取得に向けた意欲の低下が見られる</li> <li>・2年生8名が受講し、このうち3名が特別講座の他、全国の学生が集う経営力養成講座にも参加した。</li> </ul>	<p>【自己評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標を完全に達成</li> <li>2 目標をほぼ達成(80%以上)</li> <li>3 目標を未達成(50~80%)</li> <li>4 目標を著しく未達成(50%以下)</li> </ol> <p>【委員評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 目標を完全に達成</li> <li>2 目標をほぼ達成(80%以上)</li> <li>3 目標を未達成(50~80%)</li> <li>4 目標を著しく未達成(50%以下)</li> </ol>
	3級以上取得率										
H30卒業生	80.0%										
H31卒生(現2年)	62.7%										
H32卒生(現1年)	67.2%										

	<p>(3) 公開講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のJGAP及びグローバルGAP認証法人等を講師として招聘し、公開講座を実施した。</li> </ul> <p>(4) 農業数学の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自営、農業法人等への就職で必要となる農業数学の選択を学生に推奨した。</li> </ul> <p>(5) グローバルGAP認証に向けたコンサルの実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座：7回（うち農業法人4社）</li> <li>・農業数学受講者 59名</li> <li>・野菜クラスの学生15名、水田クラスの学生3名を中心に、グローバルGAP認証に向けたコンサルを実施。</li> </ul>	
--	---	--	--

重点目標	取組状況	達成状況	評価																																																																			
運営方針3 新規就農者の確保  <b>【数値目標】</b> 全学生・研修生の進路決定率100% 就農率80%以上	<b>1 農学部</b> <b>(1) 進路状況</b> <b>①進路内定状況 (平成31年1月末現在)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">進路内定</th> <th colspan="5">うち就農</th> <th rowspan="2">内定率</th> <th rowspan="2">就農率</th> </tr> <tr> <th>自営</th> <th>法人</th> <th>兼業</th> <th>研修</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>7</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>31</td> <td>100.0</td> <td>60.8</td> </tr> </tbody> </table> <b>②農学部過去5年間の就農率 (%)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就農人数</td> <td>35</td> <td>31</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>就農率</td> <td>79.5</td> <td>79.5</td> <td>76.4</td> <td>79.6</td> <td>71.1</td> </tr> </tbody> </table> <b>(2) 就職支援及び進路先の開拓</b> <b>①進路コーディネーターによる農業法人との連携強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生対象：6月進路面談。</li> <li>・1年生対象：12月進路面談、2月保護者面談。</li> </ul> <b>②農業法人との就職相談会</b> 開催日：平成30年5月17日、参加法人41法人 <b>③インターンシップの促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・28法人へインターンシップ実施。24名参加。</li> </ul> <b>2 研修部</b> <b>(1) 進路状況 (平成31年1月末現在)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">進路内定</th> <th colspan="4">うち就農</th> <th rowspan="2">他産業</th> <th rowspan="2">内定率 (%)</th> <th rowspan="2">就農率 (%)</th> </tr> <tr> <th>自営</th> <th>法人</th> <th>研修</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就農準備研修</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>87.0</td> <td>65.2</td> </tr> </tbody> </table> <b>(2) 振興局・関係団体との連携会の開催 (5回)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/6 5/17 5/25 8/23 2/10</li> </ul> <b>(3) 法人等農家研修 (延べ64名参加)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家研修 (7/17～7/30:前期10農家、15名研修) (1/17～2/15:後期13農家、17名研修)</li> <li>・津久見市ファーマーズスクール視察 (10/5、18名参加)</li> <li>・豊肥地区ファーマーズスクール視察 (11/13、14名参加)</li> </ul> <b>(4) 農業法人との就職相談会 (のべ17名参加)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/17 農業法人就職相談会 (農大、2名参加)</li> <li>・8/19 おおいた就農応援フェア・相談会 (大分市、2名参加)</li> <li>・10/5 北部地区新規就農バスツアー (3名参加)</li> <li>・9/11、10/4 宇佐ぶどう学校説明会 (1名参加)</li> <li>・9/19、10/23、11/29 豊後高田市ファーマーズスクールとの面談 (1名参加)</li> <li>・11/12 臼杵市野津町ファーマーズスクールとの面談 (1名参加)</li> <li>・6/14、9/5 農業法人面談 (おひさまファーム、ハーブガーデン:2名参加)</li> <li>・2/10 農業法人合同説明会 (5名参加予定)</li> </ul>		対象者	進路内定	うち就農					内定率	就農率	自営	法人	兼業	研修	計	学生	51	51	7	23	1	0	31	100.0	60.8	年度	H25	H26	H27	H28	H29	就農人数	35	31	42	39	32	就農率	79.5	79.5	76.4	79.6	71.1		対象者	進路内定	うち就農				他産業	内定率 (%)	就農率 (%)	自営	法人	研修	計	就農準備研修	23	20	5	7	3	15	5	87.0	65.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学生・研修生の進路決定と就農率80%以上の数値目標は、未達成。</li> </ul> <b>【農学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路決定100%</li> <li>・就農率60.8%</li> <li>・農業関連企業就職31.4% (公社等7社)</li> <li>・就農及び農業関連企業就職者合計46名90.2%</li> <li>・30年度は学生数が多く、就農の絶対数はH29年度と同等だが、就農率は70%を下回った。但し、関連企業への就職者は多かったため、農業関連企業を含む進路内定率は90%となった。</li> </ul> <b>【研修部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月末時点の進路内定者は20名おり、中途退校者1名を除く2名についても、就農活動に向けた支援を継続しており、3月末までには全員の進路が内定する見込みである。</li> <li>・1月末時点での内定者のうち、就農が内定している者が15名の他、既に農業関連産業での就職内定者が2名、他産業で就職が決定している研修生が3名いる。最終的な就農率は83%程度になる見込みである。</li> </ul>	<b>【自己評価】</b> 1 目標を完全に達成 2 目標をほぼ達成 (80%以上) <b>3</b> 目標を未達成 (50～80%) 4 目標を著しく未達成 (50%以下)
	対象者				進路内定	うち就農						内定率	就農率																																																									
		自営	法人	兼業		研修	計																																																															
学生	51	51	7	23	1	0	31	100.0	60.8																																																													
年度	H25	H26	H27	H28	H29																																																																	
就農人数	35	31	42	39	32																																																																	
就農率	79.5	79.5	76.4	79.6	71.1																																																																	
	対象者	進路内定	うち就農				他産業	内定率 (%)	就農率 (%)																																																													
			自営	法人	研修	計																																																																
就農準備研修	23	20	5	7	3	15	5	87.0	65.2																																																													
			<b>【委員評価】</b> 1 目標を完全に達成 2 目標をほぼ達成 (80%以上) <b>3</b> 目標を未達成 (50～80%) 4 目標を著しく未達成 (50%以下)																																																																			

- (5) インターンシップ等による就農体験  
 ・研修生派遣カ所 2組織 派遣のべ日数4日、2名参加
- (6) 各種免許、資格等取得促進による就農支援  
 平成31年度農業大学校学生・就農準備研修生免許資格等取得状況

免許・資格等種類	学生	研修生	計
①大型特殊免許（農耕車限定）	60名	21名	81名
②けん引免許（同上）	44名	5名	49名
③フォークリフト運転技能講習	30名	6名	36名
④アーク溶接作業特別	42名	5名	47名
⑤ガス溶接技能講習	38名	0名	38名
⑥ボイラー取扱技能講習	33名	1名	34名
⑦小型車両系建設機械特別教育	25名	1名	31名
⑧土壌医検定試験	9名	7名	16名

注) ⑦、⑧は受験者数であり結果は後日発表